

みどりの杜俳句会

雲白く流れの速し山桜

佐山けさ子

紫つつじ雲ちぎれとぶ前の山

高橋 きみ

山藤の高きに房の重なれり

落合 七郎

池の端水に映りて黄の菖蒲

木元ひろ子

折り紙に奴を折りて窓若葉

安田 久子

山藤の笠はこの様さがりけり

西 ツル

郷愁の香の庭にありライラック

荒川句似啓

空びんに鈴蘭挿して語り合ふ

鈴木 啓子

帰り来る玄関すみれ盛りかな

吉田 愛子

二輪草杉山裾に株の増え

河西カナメ

手作りの佃煮添へて花見膳

田村 好子

山並みの芽吹きの色や朝茶飲む

馬場 芳

子らの皆一人立ちせり雛飾る

飯野はつ志

山の烟露一面に花かかぐ

高橋 ツ子

峠への桜並木や堰ひびく

梅沢きくえ

藤の花背後に藤娘を踊る

松本 孚子

街道の桜ついばみ鳥移る

関口 真吾

初なり苺ひよどりの来て食ひ散らす

小宮 勉

我窓の下の裏川河鹿鳴く

関口 侑子

青空の桜巡りやハミングす

野口利江子

日だまりの畑白菜薫むすぶ

岡部富美子

紅梅の切枝並び直売所

千野さき子

置き去りの鉢に水仙芽の出づる

初雁 功子

川淀に波紋ひろごり鴨の飛ぶ

土屋 厚子

種子用と畝に札立ち葱坊主

山田 美子

白石短歌会

昭和平成令和と生きて

時代の流れに疑問も残る

春が来てあなたの好きな忘れな草

庭一面に咲いて居ります

渡邊美枝子

老いてゆく姑の目線にと植えに来し

木々に花々今に楽しむ

白石 礼子

平成の最後の雨に清めらる

平成の最後の雨に清めらる

柳手折りて想い込め供う

渡邊阿里子



人権シリーズ

「豊かな心と人権感覚の育成に向けて」

人は皆、生まれながらに平等で幸福に生きる権利がある。全ての人が幸せに暮らすために、差別や偏見は絶対に許されないことである。小学校において、私たち教員は勉強や運動を教えるだけでなく、子どもたち一人ひとりに豊かな人権感覚の基礎を身に付けさせることも重要な責務である。そのために私自身、大切にしていることがいくつかある。挨拶は、いつでも誰に対しても、相手の目を見て立ち止まって挨拶することを心がけている。言葉遣いでは、相手の気持ちを考え、ふわふわ言葉を励行するよう努めている。人の話は、手を止め、話し手に体を向けて、頷きながら最後まで聴くようにしている。

子どもは、大人の姿や言動を見て成長していくので、よいモデルを示していく上でも学校教育の果たす役割は大きい。子どもたちの豊かな心の育成には、学校だけでなく、家庭と地域で連携することが必要不可欠であると考える。私自身、小学生の頃、背が低かったり、眼鏡をかけていたりしたこと、からかわれて嫌な思いをしたことがある。人と違っているところを否定するのではなく、その人の素敵な個性という見方で受け止め、認め合っていければ、誰一人傷つくことなく、みんなが幸せに暮らせるのではないだろうか。

人に優しくすると巡り巡って自分に返ってくる。困ったときには支え合い助け合える、優しさいっぱいの人間関係が構築できるよう、次代を担う子どもたちを育てていきたい。

東秩父村立槻川小学校 教頭 中島 悠介